

第 94 回 本郷ふじやま公園古民家歴史部会・歴史探訪

「横浜市南部地域・通算第 9 回目・金沢区その 3」

本郷ふじやま公園古民家歴史部会員

長谷川 一郎

平成 27 年 2 月 4 日(水) 「金沢八景一染王寺ほか」

*集合：「京急・金沢八景駅」改札前へ 9 時 50 分厳守同時出発。

- (1)行 程： 下記「探訪先と同じため略。
- (2)食事 場所： 自由行動。
- (3)探 訪 先： 金沢区役所「横浜金沢魅力帳」及び「金沢八景巡り地図」を参考にした。
- ①帰 帆 橋：江戸時代は民家もまばらで、この辺りで東京湾から乙舳へ帰る帆掛け船が眺められた、金沢八景の一つ「乙舳の帰帆」を反対側から望める所に架かる橋からこの名が命名された。
- ②旧伊藤博文金沢別邸：初代内閣総理大臣・伊藤博文により建てられた別邸で、茅葺寄せ棟屋根の田舎風海浜別荘建築である。
- ③野島公園展望台：海拔 75m の展望台からは、晴れていれば、富士山が間近に見られる。眼下には金沢八景の一つ「野島の夕照(せきしょう)」が望める。対岸には日産自動車のテストコースがある。
- ④鎮守稻荷神社：祭神は、正一位稻荷大明神で、日本三大稻荷：豊川・伏見・笠間の内、伏見稻荷の系統で、野島の総鎮守である。
- ⑤染 王 寺：本尊は聖観音菩薩で、創建：永徳 2(1382)年、比丘尼・了意が野島山に庵を結んだのが始まり。境内に筆子塚があり、元禄から享保にかけて、四代の住職の墓石に「施主手習子供」とあり、教えを受けた手習子たちが、師であった住職のために、墓を建て供養したもので、平成 5 年横浜市地域文化財史蹟に指定されている。
- ⑥夕 照 橋：金沢八景の一つ「野島の夕照」を望む場所に架けられ、この名が付けられた。また、夕照橋から望む野島に面した一帯は、「平潟湾プロムナード」と呼ばれ、金沢八景の一つ「平潟の落雁」といわれる景勝地である。
- ⑦金龍 禅院：臨済宗のお寺で、本堂の後ろには、「飛石」と呼ばれる石がある。本堂後ろの丘にある「九覧亭」からの眺望は金沢随一といわれ、参道入り口に「八景一見之地飛石」の碑がある。

以上

歴史探訪
横浜市南部地域・金沢区その3

第94回 2月4日(水)

金沢八景～染王寺ほか



平潟楽廬



野島夕照



乙艦帰船

dimson